

色彩・意匠学部会報

No. 15

発行日 平成31年3月31日
発行人 一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会編集発行
事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室(井澤)
TEL:03-3262-2749 FAX:03-3262-2174(代)

《平成30年度総会報告》

平成30年5月26日(土)日本女子大学(日本家政学会第70回大会会場)において、「平成30年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議事

平成29年度事業報告

1. 総会

平成29年5月27日(土)
奈良女子大学(日本家政学会第69回大会会場)

2. 役員会

平成29年5月27日(土)奈良女子大学
平成29年9月3日(月)信州大学
平成30年2月24日(土)東京家政学院大学

3. 連絡懇談会

平成29年9月3日(日)信州大学
(夏季セミナー会場)

4. 平成29年度夏季セミナー

平成29年度色彩・意匠学部会夏季セミナーは日本家政学会第2回家政学夏季セミナーへの企画参加をもって代えた。

5. 情報交換会

平成29年9月3日(日) 門前茶寮 弥生座

6. 共同研究打ち合わせ

平成29年9月3日(日)(信州大学)

7. 平成29年度春季セミナー

平成30年2月24日(土)
会場 東京家政学院大学千代田三番町キャンパス
テーマ 『今に生きる江戸東京の技・色・デザイン』

講演1 「浮世絵にみる幕末から明治初期の色彩とデザイン」

講師 共立女子大学名誉教授 伊藤 紀之 氏

講演2 「西欧の近代デザインとジャポニズム」

講師 愛国学園短期大学講師 畑 久美子 氏

体験1 江戸銀細工の解説および体験

講師 (有)日伸貴金属(伝統工芸士)
銀師 上川 宗照 氏、川上 宗白 氏

平成29年度 決算報告

平成29年4月1日—平成30年3月31日

収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	108,418	通信費	2,368
		消耗品費	108
部会費	34,000	HP使用料	5,466
セミナー会費	110,000	セミナー開催費	156,534
活動助成金 (学会本部より)	49,421	会議費	818
財務活動支出(前年度定期預金解約)	90,110	投資活動支出 (定期預金)	90,118
雑収入(利息等)	8	支払い負担金 (振込手数料等)	0
		次年度繰越金	136,545
合計	391,957	合計	391,957

以上の報告通り相違ありません。

監事 武井 玲子 印 (平成30年4月1日)

橋本 令子 印 (平成30年4月1日)

平成30年度 事業計画 (案)

1. 総会

平成30年5月26日(土) 日本女子大学
(日本家政学会第70回大会会場)

2. 役員会

平成30年5月26日(土) 日本女子大学
平成30年8月21日(火) 神戸松陰女子学院大学
平成31年2月25日(月) 京都光華女子大学短期
大学部

3. 連絡懇談会

平成30年8月21日(火) (夏季セミナー開催時)

4. 平成30年度夏季セミナー

平成30年8月21日(火)・22日(水)
神戸松陰女子学院大学 他

5. 情報交換会

平成30年8月21日(火) (夏季セミナー開催時)

6. 共同研究打ち合わせ

平成30年5月26日(土) 日本女子大学(総会時)
平成30年8月21日(火) (夏季セミナー開催時)

7. 平成30年度春季セミナー

平成31年2月25日(月) 京都光華女子大学短期
大学部ライフデザイン学科のご協力のもと共催

平成30年度予算

平成30年4月1日～平成31年3月31日収入の部	金額(円)	支出の部	金額(円)
前年度繰越金	136,545	通信費	18,000
平成29年度部会費	28,000	消耗品費	6,000
セミナー等開催費	430,000	印刷費	5,000
		会議費	2,000
助成金(本部より)		セミナー等開催費	430,000
		HP関連費	5,466
財務活動支出	90,118	雑費	1,000
		財務活動支出(定期預金)	90,118
		次年度繰越金	127,079
合計	684,663	合計	684,663

平成30年度役員構成

部会長 : 石原久代
副部会長: 畑久美子、花田美和子
常任委員:
＜監事＞武井玲子、橋本令子
＜庶務＞大澤香奈子、小町谷寿子
＜会計＞佐々木由美子、内藤章江、井澤尚子(兼事務局)
＜会報＞戸田賀志子、鳥海薫、稲垣有美子
＜夏季セミナー＞花田美和子、戸田賀志子、大澤香奈子、熊田亜矢子
＜春季セミナー＞大澤香奈子、熊田亜矢子、花田美和子、戸田賀志子、白坂文
＜共同研究＞石原久代、井澤尚子
＜ホームページ＞難波めぐみ、鷺津かの子
＜顧問＞芦澤昌子、橋喬子

平成30年度 総会議事録

日時 : 平成30年5月26日(土)
12時50分～13時30分
場所 : 日本女子大学 百年館低層棟
3階 306 M会場
司会 : 副部会長 畑 久美子
出席者数 : 部会員 14名、委任状 12名

I. 開会の辞

畑副部会長より開会の辞が述べられた。

II. 部会長挨拶

石原部会長より挨拶がなされた。

III. 議長選出

議長に畑副部会長が選出された。

会議に先立ち出席者・委任状の数が確認され、定足数に達し、本総会が成立する旨が報告された。

IV. 議事

第1号議案 平成29年度事業報告承認に関する件
大澤委員から平成29年度の事業報告があり承認された。

第2号議案 平成29年度会計報告承認に関する件
佐々木委員から平成29年度の会計報告があり承認された。

第3号議案 平成29年度会計監査報告

武井監事から平成29年度の会計監査報告があった。

第4号議案平成30年度事業計画(案)承認に関する件
小町谷委員から平成30年度事業計画(案)が報告され、承認された。

第5号議案 平成30年度予算(案)承認に関する件
佐々木委員から平成30年度の予算(案)が報告され、承認された。

第6号議案 その他

石原部会長より、平成29年度3月での退会者3名、平成30年総会までの入会者3名について報告された。

V. 平成30年度部会研究について

石原委員と井澤委員から現在進められている2つの部会研究についてそれぞれ進捗状況と今後の展開について報告された。石原委員が中心となっているアパレル分野における色彩調和の検討について、今年度の年次大会での発表で第1報を口頭発表する。井澤委員を中心とした研究は、これまでの結果をもう少し掘り下げて研究し、来年度の大会で発表することを目指して進めていく予定である。

VI. 平成30年度夏季セミナーについて

花田委員より、平成30年度夏季セミナー(案)について詳細な内容、スケジュール等が説明された。

VII. 平成30年度春季セミナーについて

大澤委員より、開催日は平成31年2月25日とし、会場は京都光華女子大学短期大学部で開催することが報告された。

VIII. その他

石原部会長より、40周年記念誌(100頁50枚)を今年度中に発行予定であること、部会員一人2頁の原稿執筆を6月に依頼をすることが報告された。

IX. 閉会の辞

畑副部会長より閉会の挨拶がなされた。

《 夏季セミナー報告 》

平成30年度 日本家政学会色彩・意匠学部会の公開講演会ならびに第40回夏季セミナーが平成30年8月21日(火)～22日(水)に2日間の日程で開催された。今回はセミナーテーマを「デザインにみる地域性 - ファッション都市神戸 - 」と題し、公開講演会、見学会を企画した。参加者は合計36名であった。

第1日目の公開講演会は神戸松蔭女子学院大学を会場に、2名の講師をお招きして行われた。神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 ファッション・ハウジングデザイン学科教授の徳山孝子氏、神戸タータン協議会会長、石田洋服店代表取締役の石田原弘氏によって、ご講演いただいた。一般参加者の中には神戸タータンの研究をしている大学院生、神戸タータンを使った商品開発をしたいクリエイターなども参加され、活気ある公開講演会となった。講演会の後は帽子専門店マキシン神戸トアロード本店に移動し、アトリエ見学を行った。

<プログラム内容>

●8月21日(火) 公開講演会

会場：神戸松蔭女子学院大学5号館 512教室

12:00～12:50 役員会

12:30～ 受付

13:00～13:05 部会長挨拶

13:05～14:10 講演1「神戸ファッションにおける「おしゃれ」のイメージ」

神戸松蔭女子学院大学教授

徳山 孝子氏

14:25～15:30 講演2「神戸タータンの誕生と今後の展望」

神戸タータン協議会会長、石田洋服店代表取締役 石田原 弘氏

15:30～16:00 移動

16:00～17:30 アトリエ見学 帽子専門店マキシン神戸トアロード本店

18:00～20:00 情報交換会 (クッチーナ ラトリエ)

●8月22日(水) 美術館見学会

8:30～10:00 移動

10:00～13:00 大塚国際美術館 見学、昼食

13:00～14:30 移動

14:30～15:30 淡路ハイウェイオアシス

15:30～16:00 移動後、解散

1) 講演1

「神戸ファッションにおける「おしゃれ」のイメージ」

講師：神戸松蔭女子学院大学教授 徳山 孝子氏

神戸は近代洋服発祥の地ともいわれ、昨年神戸港 150 年を迎えた。本講演ではこの 150 年の歴史をたどりながら阪神間に住む人々と洋服文化との関わりについて解説された。昭和初期の雑誌「ファッション」では、阪神間のセレブがモデルとなり、外国のファッション情報がいち早く紹介されていたなど、神戸ファッションの歴史を知ることができた。また、ファッション雑誌の古書が紹介され、講演後、講師の説明を受けながら参加者が手に取って見ることもできた。

2) 講演 2

「神戸タータンの誕生と今後の展望」

講師：神戸タータン協議会会長、石田洋服店代表取締役
石田原 弘氏

「神戸タータン」とは、神戸を象徴するイメージデザインとして様々なアイテムに使用され、スコットランド登記所に永久保存されているものである。神戸の自然と街の風景からイメージする色で構成されており、神戸を象徴するイメージデザインとして、地域活性化のために広く使用されている。具体的には織物やグラフィックデザインのかたちで、ファッション、雑貨、食品パッケージ、さらには車など、様々なアイテムに展開されている。本講義では「神戸タータン」のカラーデザインの過程なども詳しく解説され、一般参加者からも多くの質問が寄せられた。



公開講演会の様子 於：神戸松蔭女子学院大学

3) アトリエ見学

帽子専門店マキシン 神戸トアロード本店

1940年(昭和15年)に創業したマキシンは、神戸を本拠地に雅子妃殿下の御帽子やオリンピック日本選手団や JAL、ANA、JR 東日本などの企業の制帽などを手掛ける帽子専門店である。今回は、一般には公開して

いない神戸トアロード本店のアトリエを特別に見学させていただいた。はじめにマキシンの歴史についての講義と紹介 DVD を視聴し、その後、工房にて夏らしい麻ブレード、秋冬らしいベロアフェルト素材の帽子の製作工程を見学した。神戸マイスターの称号を持つ職人の方の技術を目の当たりにすることができ、また西洋の帽子の文化を知る貴重な体験となった。



麻ブレードの夏用の帽子の縫製工程を見学

4) 大塚国際美術館 見学会

神戸三ノ宮からバスで移動し、徳島県鳴門市にある大塚国際美術館を見学した。当美術館は陶板で表現された世界の名画が広大な床面積の展示スペースに 1000 点ほど展示されており、これらの一部を 1 時間ほど解説つきで鑑賞することができた。解説は非常に興味深く、特殊技術によって色や質感が再現された作品は、本物ではないことを忘れてしまうほどであった。ちょうど開館 20 周年の記念事業として、花瓶に入ったゴッホの「ヒマワリ」全 7 点が一堂に展示されており、ゴッホをテーマにカフェ「Café Vincent (カフェ フィンセント)」もオープンするなど、鮮やかな黄色に彩られた館内であった。



見学後、美術館前での集合写真

翌日には台風が接近し、徳島へ渡る橋が通行止めになるなど、間一髪の日程でしたが、遠方での開催となった夏季セミナーにご参加いただき、ありがとうございました。お世話になりました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(夏季セミナー実行委員一同)

《 お知らせ 》

2019年度 色彩・意匠学部会

第41回夏季セミナー

2019年度夏季セミナーは、下記の通り開催いたします。部会員はじめ、部会員以外の方々のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

期 日：2019年8月21日(水)、22日(木)

会 場：椋山女学園大学 星ヶ丘キャンパス

(名古屋市千種区星ヶ丘元町17番3号)

テーマ：東海地域の伝統文化の色彩と意匠

〈プログラム〉

8月21日(水) 13:00~16:20

公開講演会

1. 『日本の伝統芸能と色彩』

元名古屋女子大学文学部教授 林 和利氏

2. 『美濃和紙の歴史、技術と展開』

岐阜県産業技術センター紙業部部長 佐藤幸泰氏

3. 『長良川鶴飼の鶴匠装束』

岐阜大学教育学部教授 夫馬佳代子氏

8月22日(木) 9:00~16:00

見学会

フェザーミュージアム、刃物会館(岐阜県関市) /
うだつのあがる町並み、美濃和紙の里会館(岐阜県美濃市)

申し込み・問い合わせ先:

名古屋学芸大学 メディア造形学部

ファッション造形学科 鷺津かの子

TEL 0561-75-1839 (直通)

E-mail washizu@nuas.ac.jp

◇ 詳細は、後日案内をさし上げます。

色彩・意匠学部会 ホームページ

平成22年度より、色彩・意匠学部会のホームページを開設しております。セミナーなどへの参加申し込み方法や部会における取組の紹介やイベント情報、会報のバックナンバーなどを掲載しています。是非ご覧ください。

色彩・意匠学部会ホームページ URL

<http://shikisai-isyou.sakura.ne.jp/index.html>

第1章 総則

第1条 本会は、一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会とする。

第2条 本会は、一般社団法人日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

1. 部会総会
2. 部会セミナー
3. 部会講習会・見学会
4. 部会研究会
5. 会報・成果の印刷物配布
6. その他、本会にて必要と認める事業

第4条 事業は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の事業計画・事業報告は、学会理事会に報告するものとする。

第3章 会員

第5条 本会は、次の構成員で組織する。

1. 正会員 原則として日本家政学会会員で、色彩・意匠学領域に関連する研究・教育に携わる者
2. 学生会員 色彩・意匠学領域に関心を持つ学生

第4章 役員

第6条 本会の運営を円滑にするために、次の役員をおく。

- | | |
|---------|-------|
| 1. 部会長 | 1名 |
| 2. 副部会長 | 2名 |
| 3. 常任委員 | 20名以内 |
| 4. 監事 | 2名 |
| 5. 顧問 | 若干名 |

第7条 部会長の選任、解任は次の通りである。

1. 部会長は、日本家政学会会員に限る。
2. 部会長の選任は、本会会員の互選によって選出し、部会総会にて報告承認を行い、学会理事会において承認を受ける。
3. 部会長の解任は、総会にて行い、学会理事会において承認を受ける。
4. 部会長が解任された場合は、前任者の残任期間は他の役員が職務を代行する。

第8条 副部会長・常任委員・監事・顧問は、会員の互選によって選出し、総会にて承認、また、解任は総会にて行い、残任期間は他の役員が職務を代行する。

第9条 役員任期は2年とし、再選をさまたげない。

第10条 役員職務は次の通りとする。

1. 部会長は、本会を代表し、会の運営を統括する。
2. 副部会長は、部会長を補佐する。
3. 常任委員は、本会の業務を遂行し、必要に応じて業務を分担する。

4. 監事は、本会会計の監査を行う。

5. 顧問は、必要な助言を行う。

第5章 総会

第11条 本会の総会は、原則として一般社団法人日本家政学会の年次大会時に開催する。また、適宜臨時総会を開催することができる。

第6章 会費

第12条 本会の会費は、年額千円とする。

第7章 会計

第13条 本会の運営経費は、会費による。

第14条 会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日で終わりとする。

なお、本会の予算・決算報告は、学会理事会に報告するものとする。

第8章 規約の変更

第15条 部会規約の変更は、総会の議決による。本規約の変更は、総会において承認を受け、理事会に報告する。

第9章 事務局

第16条 本会の事務局は、庶務責任者または会計責任者の所属する機関内におく。

[付則]

この規約は、昭和53年4月1日より施行する。

この規約は、昭和58年8月26日より施行する。

この規約は、平成元年8月22日より施行する。

この規約は、平成15年8月28日より施行する。

この規約は、平成22年5月1日より施行する。

この規約は、平成25年5月18日より施行する。

申し合わせ事項

1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。（付2）
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。

(付1)：部会長連絡先

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17番3号
椋山女学園大学 生活科学部生活環境デザイン学科
石原久代
TEL：052-781-4591
e-mail：ishihara@sugiyama-u.ac.jp

(付2)：事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院大学 現代家政学科 1704室 井澤尚子

(部会費振込み先) 口座番号：0014-5-389316

口座名義：色彩・意匠学部会

<編集後記>

皆様のご協力のもと会報の発行に至りました。本年度も大変貴重なセミナーを開催して頂き特別な体験と学習を致す事が出来ました。開催にご尽力頂きました先生方には心より感謝申し上げます。今年度は悲しいお知らせがあります。部会でご活躍頂いておりました大澤香奈子先生の突然の訃報です。御冥福を心より祈りたいと思います。(担当：稲垣、鳥海、戸田)